

令和2年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
農業経営研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長（部会長） 佐藤百合香
生産基盤研究領域長（副部会長） 迫田登稔

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域における試験研究の適切かつ円滑な推進を図るため、当地域の重要問題を摘出し、試験研究課題の設定並びに効率的な研究推進のための計画及び分担・協力関係を協議するとともに、研究成果の取扱いについて総合的な検討を行う。

本年度の重点検討事項「アフターコロナの農業技術研究と普及」においては、省力化の実現が期待されるスマート農業技術をとりあげ、その導入の動機づけとして重要な疲労軽減の効果をどう評価するかについて討議する。

2. 開催日時

令和3年1月26日（火） 14:00～17:00
1月27日（水） 9:00～12:00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）研修室811
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 （電話 019-606-1717）

4. 検討議題

1) 重点検討事項「アフターコロナの農業技術研究と普及」

講演（話題提供）

「作業前後の疲労軽減効果の把握方法（仮）」

摂南大学 副学長 川野常夫

「スマ農技術の疲労軽減効果とその把握の実態」

農研機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 笹原和哉

- 2) 令和2年度研究成果情報候補の検討
- 3) 現場段階での重要な技術的課題の検討
- 4) コロナ感染下で生じている農業現場での問題についての情報交換・意見交換
- 5) 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案
- 6) 各県の主要研究課題の検討
- 7) 夏期研究会の次年度の開催計画
- 8) その他

5. 参集範囲

東北地域6県公設試験関係者、同行政・普及部局関係者、大学関係者、農研機構等国立研究機関関係者、農林水産技術会議事務局関係者、東北農政局担当官、その他部会長が必要と認める者

6. 新型コロナ感染防止対策

新型コロナ感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね 50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して 14 日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることご承知おきください。

7. 連絡先

農研機構東北農業研究センター 生産基盤研究領域 農業経営グループ 笹原和哉

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4 番地

E-mail: sasa@affrc.go.jp Tel : 019-643-3493 緊急時 090-3414-1056